

平成25年度 第2回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 平成25年度考古博物館経過事業について
 - (2) 平成25年度考古博物館予定事業について
 - (3) 考古博物館基本理念について
 - (4) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

平成25年11月19日(火)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成25年度 考古博物館経過事業について	
1 展示活動	1
2 学習会・講座など	2
3 イベント	4
4 職場体験・インターンシップ・学芸員実習.....	5
5 古代衣装貸し出し.....	6
6 ボランティアガイドの実施	6
◇ 考古博物館の利用状況について	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	8
(2) 特別展観覧者数	9
(3) 学校関係利用状況	10
(4) 総利用者数	11
◇ 平成25年度 考古博物館予定事業について	
1 展示活動	12
2 学習会・講座など	12
3 イベント	12
◇ 平成26年度 第32回特別展（予定）について.....	14
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	15
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	16

【別添資料】

- ◇ 山梨県立考古博物館基本理念（案）

◇ 平成25年度考古博物館経過事業について

1 展示活動

(1) 第31回特別展

テーマ：『食いしんぼうの縄文人 いざとなったら縄文食～日本の食と心の源流』

入館者：4,240人

※11月18日現在

会期：平成25年9月25日(水)～11月24日(日) 55日間(月曜日休館)

会場：山梨県立考古博物館

概要：現在の日本の食糧自給率は約40%といわれているが、一万年以上前に始まった縄文時代から、百数十年前に終わった江戸時代までは100%の自給率であった。実は、今日まで続く日本の食文化の源流は、その縄文時代にまで遡ると考えられる。「自然の中から食料を得る」という生活スタイルがその基本であった。そのスタイルは「自然と共に生きる」という日本の精神文化とも重なるものである。今回の展示は、日本の食文化の源流である縄文時代の食生活と精神文化のあり方を、関連する考古資料から振り返る。

(2) 企画展

① 春季企画展『武田と城と城下町』

入館者：7,060人

会期：4月28日(土)～6月30日(日)

会場：考古博物館特別展示室

概要：信虎・信玄・勝頼の武田三代が暮らした、武田氏館跡(国指定史跡)をはじめ、新府城跡など、戦国時代を雄壮に駆けぬけた武田一族とその家臣たちの生活を、発掘調査された出土品展示で考察した。

② 夏季企画展『日本一の富士山展』

入館者：5,630人

会期：7月13日(土)～平成25年9月1日(日)

会場：考古博物館特別展示室

概要：神聖で荘厳な姿の富士山は、富士山を居所とする神仏の霊力を獲得し、自らの擬死再生を求めるといった独特の性質を持つ富士山信仰を育んできた。本展では、発掘調査で明らかとなった太古の人々のくらしと富士山に対する信仰の姿を紹介した。

③ 新指定展 国指定文化財『酒呑場遺跡』

入館者：5,675人

会期：3月1日(水)～5月31日(金)

会場：考古博物館エントランスホール

概要：新たに国指定重要文化財に指定された北杜市の酒呑場遺跡の土器及び石器を展示公開した。

④ 新指定展 県指定文化財『海道前C遺跡』

入館者：4,750人

会 期：4月10日（水）～5月31日（金）

会 場：考古博物館エントランスホール

概 要：新たに県指定文化財に指定された北杜市の海道前C遺跡の土器及び石器を
展示公開した。

⑤ 夏季企画展『日本一の富士山展』プレミニ展示

入館者：2, 345人

会 期：6月19日（水）～7月12日（金）

会 場：考古博物館エントランスホール

概 要：今年は史跡富士山から世界文化遺産への飛躍の年であり、夏季企画展「日本
一の富士山展」（7/13～9/1開催）を前に、富士山の信仰に関する発
掘調査の出土品を展示した。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は、昨年度からの継続事業として『考古学が語る、暮らし・環境・自然災害』
をテーマとし、一昨年の中日本大震災以後、関心が高まる自然災害や環境の問題につい
て、考古学的側面から最新の研究状況に関する講座を開催した。

第1回 6月9日（日） 考古学が語る 暮らし・環境・自然災害1

奈良・平安時代編 『富士山の火山災害と人々の暮らし

～最新の発掘成果に見る災害の痕跡～』

講師：杉本 悠樹氏（富士河口湖町教育委員会）

受講者：51人

第2回 6月30日（日） 考古学が語る 暮らし・環境・自然災害2

中世編 『地震災害の痕跡と水害との戦い

～低地部の液状化現象と東日本大震災の復興現場の現状～』

講師：保坂 和博氏（宮城県教育庁）

受講者：55人

第3回 7月21日（日） 考古学が語る 暮らし・環境・自然災害3

近世編 『水害と水防の歴史

～武田の時代から続く先進的治水対策の継承～』

講師：斎藤 秀樹氏（南アルプス市教育委員会）

受講者：38人

第4回 8月18日（日） 考古学が語る 暮らし・環境・自然災害4

近代から現代編 『災害の教訓から身を守る

～最近の活断層研究と考古学の融合～』

講師：興水 達司氏（山梨県立大学）

受講者：44人

(2) 特別展関連講演会

特別展に関連したテーマで講演会を開催した。

事前講演会

9月 1日（日） 『食いしんぼうの縄文人のみどころ』

講師：当館学芸課長 米田 明訓

受講者：18人

- 記念講演会 第1回 10月 6日(日) 『縄文の植物食』
 講師：元国立歴史民俗博物館 教授 西本 豊弘氏
 受講者：38人
- 第2回 10月13日(日) 『木製具からみた縄文の食文化』
 講師：首都大学東京 教授 山田 昌久氏
 受講者：31人
- 第3回 10月27日(日) 『貝塚から見た縄文の漁撈・狩猟』
 講師：県立博物館 学芸員 植月 学氏
 受講者：19人

(3) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深める。

- 第57回 4月22日(日) 『信玄公の御館を訪ねる』
 講師：甲府観光ボランティアガイド 林 陽一郎氏
 参加者：50人
- 第58回 6月16日(日) 『北杜市の縄文のムラを訪ねる』
 講師：北杜市教育委員会 村松 佳幸氏
 参加者：21人
- 第59回 8月 4日(日) 『河口御師の里を訪ねる』
 講師：富士河口湖町教育委員会 杉本 悠樹氏
 参加者：25人
- 第60回 10月20日(日) 『考古博物館周辺で縄文食を探す』
 参加者：7人

(4) チャレンジ博物館 (風土記の丘研修センター)

小中学生を対象に、学校の休業日である土曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさやものを作り出すよろこびを経験できる企画。

- 第1回 5月26日(日) 『大きな勾玉をつくろう』
 参加者：24人
- 第2回 6月16日(日) 『縄文時代の布を編んでみよう』
 参加者：9人
- 第3回 6月30日(日) 『縄文時代のアクセサリーをつくろう』
 参加者：25人
- 第4回 7月14・21日、8月4日(日) 『縄文土器をつくろう』
 参加者：28人
- 第5回 8月18日(日) 『縄文時代のかごをつくろう』
 参加者：22人
- 第6回 9月 8日(日) 『弥生時代の矢じりをつくろう』
 参加者：24人
- 第7回 10月20日(日) 『縄文土器をつくろう』
 参加者：4人
- 第8回 11月17日(日) 『森の草木で染めてみよう』
 参加者：16人

(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (風土記の丘研修センター)

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する。

第1回	4月13日(土)	『トンボ玉作り』	参加者：5人
第2回	5月25日・6月1日(土)	『青銅器作り』	参加者：10人
第3回	6月8・15・29日(土)	『縄文土器作り』	参加者：9人
第4回	7月13日(土)	『草木染め』	参加者：15人
第5回	8月10日(土)	『トンボ玉作り』	参加者：3人
第6回	9月14日(土)・29日(日)	『青銅器作り』	参加者：10人
第7回	10月6日(日)	『勾玉作り』	参加者：14人
第8回	11月10日(日)	『トンボ玉作り』	参加者：6人

(6) 原始・古代の技術体験学習 (風土記の丘研修センター；常時対応)

(10月末現在)

① 勾玉作り	参加者：2,488人
② 火起こし体験	参加者：5,278人
③ 土鈴作り	参加者：77人

3 イベント

(1) 第25回 風土記の丘こどもまつり 参加者：2,890人

勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や縄文土器太鼓演奏、史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しを開催した。

5月5日(日)・6日(月) 風土記の丘研修センター内と前庭など

(2) 考古博物館の日

第4土曜日を中心に「考古博物館の日」と銘打ち、エントランスホールでミニイベントを実施。

第1回	4月27日(土)	『甲冑を着て戦国武将に変身！&焼米を食べてみよう！』	参加者：34人
第2回	5月25日(土)	『竪穴住居でおはなし会&どんぐりデザートを作ろう！食べよう！』	参加者：38人
第3回	6月22日(土)	『富士山のお札(ふだ)を刷ろう！』	参加者：41人
第4回	7月27日(土)	『考古学探検隊(夏)』	参加者：21人
第5回	10月26日(土)	『縄文カフェ開店！』	参加者：55人

(3) 特別展関連イベント（一部再掲）

特別展開催期間中に各種イベントを開催。

10月20日（日）	『考古博物館周辺で縄文食を探す』	参加者： 7人
10月26日（土）	『縄文カフェ開店』	参加者： 55人
11月 9日（土）	『縄文&弥生の収穫祭』	参加者： 65人

(4) 夏休みフリーパスポートイベント

パスポートでの入館者で希望者に縄文土器の拓本体験やトンボ玉作りなどを実施。

7月10日（水）～8月31日（土）

① 『土器の拓本をつくろう！』	参加者： 291人
② 『トンボ玉をつくろう！』	参加者： 125人
③ 『古代の火おこしにチャレンジしよう！』	参加者： 74人
④ 『勾玉をつくろう！』	参加者： 192人
⑤ 『青銅鏡をつくろう！』	参加者： 19人

(5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月15日（月） アイメッセ山梨（甲府市）	参加者： 73人
-----------------------	----------

(6) 縄文王国山梨関連イベント

考古博物館と、釈迦堂遺跡博物館、韮崎市民俗資料館、富士吉田市歴史民俗博物館、北杜市考古資料館、南アルプス市ふるさと文化伝承館、県立博物館の7館が連携し、共同開催イベントや講演会を実施。

①巡回イベント

8月24日（土）	『伝承館で夏まつり』	南アルプス市ふるさと伝承館	参加者： 210人
----------	------------	---------------	-----------

②共同開催イベント

9月29日（日）	『縄文文様探し』	参加者： 23人
----------	----------	----------

4 職場体験・インターンシップ・学芸員実習

主に中学生による職場体験、高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習を受け入れる。

① 職場体験・インターンシップ

7月24日	甲斐市立敷島中学2名
7月24日～25日	甲府市立南中学1名
7月24日～26日	県立白根高校1名
7月29日	県立城西高校3名
7月30日	北杜市立長坂中学1名
7月30日～31日	昭和町立押原中学2名
8月1日～2日	富士河口湖町立勝山中学1名
8月6日～7日	笛吹市立浅川中学1名、身延町立中富中学1名
8月8日～9日	富士河口湖町立西浜中学1名
8月8日～9日	甲府市立富竹中学5名
8月20日～21日	甲府市立東中学4名、甲府市立南西中学1名

8月22日～23日 甲府市立北中学2名
10月18日 南アルプス市立若草中学1名
11月14日 甲斐市立玉幡中学5名

計 16校、32名

② 学芸員実習

8月1日～8月11日 10日間 6名
信州大学2名、学習院大学・奈良女子大学・専修大学・明治大学各1名

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用する。

4月25日～ 5月15日 富士河口湖町立小立小学校
5月17日～ 5月22日 甲府支援学校
11月 8日～12月 6日 群馬県文化振興課

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。平成25年度総会で新たに3名が認定され、総勢15名で活動。

4月 2日間(延べ 5名;開館日数26日)
5月 12日間(延べ16名;開館日数27日)
6月 7日間(延べ11名;開館日数26日)
7月 7日間(延べ11名;開館日数26日)
8月 9日間(延べ 9名;開館日数28日)
9月 4日間(延べ 6名;開館日数19日)
10月 10日間(延べ10名;開館日数10日)

※ 考古博物館協力会 平成25年度山梨県文化賞奨励賞を受賞

30年間にわたりミュージアムショップ運営、図書頒布、「風土記の丘こどもまつり」など諸事業に協力するとともに、昨年度のインカ帝国展など大規模な特別展においては博物館職員とともに入場整理等の業務に当たるなど、考古博物館の運営と発展に大きく貢献してしているとして受賞。

◇ 考古博物館利用状況について

次の4項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 考古博物館総利用者数

考古博物館観覧者数 (常設展・特別展)

平成25年10月末日現在 (単位:人)

年度	開館日数	常設展										特別展	合計 (常設・特別)	累計		
		個人		団体		割引(物・学・宿泊等)		バス		土曜日 (小・中・高)	教育課程				招待者	計
大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高			大学・一般	小・中・高	大学・一般		
57	115	12,017	3,412	6,885	538							4,130	3,705	30,687	30,687	30,687
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742							8,744	3,981	48,795	8,395	57,190
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276							9,327	2,540	40,722	5,239	45,961
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116							7,533	2,660	35,628	4,015	39,643
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651							7,471	3,793	38,106	10,014	48,120
62	298	16,066	4,588	4,760	3,951							8,957	2,558	38,880	3,517	42,397
63	299	15,842	4,522	3,014	4,667							7,613	3,916	39,554	5,123	44,677
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332							7,147	2,982	42,682	5,625	48,307
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700							10,504	2,807	47,602	6,597	54,199
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541							8,975	3,684	44,935	5,789	50,724
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046							6,807	3,610	40,795	6,174	46,969
5	289	13,272	3,865	3,636	8,211							8,164	3,492	40,640	4,591	45,231
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216					48		7,388	3,708	35,036	6,286	41,322
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076					11,230	4,422	6,845	3,573	47,962	90,082	138,044
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089					3,455	1,028	4,908	2,910	30,950	18,483	49,433
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594					2,633	443	4,125	2,442	25,575	5,195	30,770
10	290	7,057	1,566	556	5,410					3,596	446	4,166	2,283	25,080	13,165	38,245
11	288	6,283	1,705	521	4,208					2,339	332	4,409	1,839	21,636	6,812	28,448
12	288	5,616	1,459	797	2,958					3,201	267	3,919	1,877	20,094	9,227	29,321
13	292	5,717	1,560	800	2,271					2,517	250	3,683	1,191	17,989	6,035	24,024
14	289	5,423	1,398	396	2,598					2,670	569	3,397	1,428	17,879	6,373	24,252
15	290	4,444	1,312	479	2,379					2,887	571	3,465	1,065	16,602	8,127	24,729
16	298	4,377	1,141	557	1,822					2,397	331	3,519	1,202	15,346	5,064	20,410
17	296	4,432	1,105	307	2,874					3,265	440	3,093	1,039	16,555	5,154	21,709
18	300	4,876	1,222	326	3,543			5		2,844	537	3,145	1,863	18,428	4,613	23,041
19	301	17,512	7,004	346	3,482			30		608	11,546	3,139	4,747	20,887	51,241	102,128
20	298	4,548	2,187	229	4,276			158		261	2,944	525	3,919	22,493	6,549	29,042
21	290	4,537	2,524	212	3,854			69		271	3,049	354	3,553	21,847	5,068	26,915
22	300	3,858	1,958	305	4,128			68		270	2,562	396	3,798	20,570	4,329	24,899
23	301	3,768	2,073	202	5,167			64		254	2,948	837	4,008	23,659	6,773	30,432
24	296	4,360	6,884	85	5,086			618		825	21,177	1,697	3,699	64,356	64,865	129,221
25	180	2,806	2,324	134	4,028			30		207	2,414	480	2,930	17,828	2,993	20,821
計	9,143	310,433	101,663	75,717	137,800			1,042		457	2,731	178,088	83,333	1,019,798	391,513	1,411,311

特別展観覧者数

平成25年10月末日現在 (単位:人)

年度	開館日数		個人		団体		割引制度(物券・宿券等)		前売券	旅行会社 クーポン	年間バス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均	内容	
	大学	小・中・高	大学	小・中・高	大学	小・中・高	大学	小・中・高											
58	46		2,807	723	1,405	215								1,800	1,445	8,395	183	土偶	
59	35		1,840	308	926	26								1,194	945	5,239	150	縄文時代の酒造具	
60	37		1,362	161	832	36								785	839	4,015	109	山梨の中世陶磁	
61	56		3,232	520	1,065	8								2,585	2,604	10,014	179	古代甲斐国と麓内王権	
62	29		1,461	274	317	28								571	866	3,517	121	古代官道と甲斐の文化	
63	28		1,924	242	359	24								2,522	809	5,625	183	古代の装身具	
1	31		1,098	264	616	316								3,549	774	6,597	183	古墳時代が聞こえる	
2	36		1,503	242	448	81								3,318	819	5,789	161	縄文土器その心象世界	
3	36		1,100	199	350	3								1,903	1,135	6,174	172	天下人の時代	
4	36		2,263	344	414	115								2,446	973	4,591	131	山梨の経塚	
5	35		840	101	231									1,947	1,295	6,286	175	古墳時代の甲冑	
6	36		2,414	534	96									4,273	4,303	90,082	2,047	黄金の都シカンの発掘展	
7	44		55,623	9,554	1,943	576						10,045	3,765	2,140	420	14,059	439	ネアンデルタール人の復活展	
8	32		7,999	1,432	259	219						982	608	2,140	2,178	4,424	233	新発見考古学展	
9	19		1,268	178	92							583	125	737	1,770	5,195	157	韓国・忠清北道の古代文化展	
10	33		1,683	167	189							587	62	1,948	2,633	13,165	299	遼かなるエジプト展	
11	39		5,173	883	151	458						611	87	1,634	1,478	6,812	175	縄文の旅	
12	39		1,985	394	166	457						1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	中国四川省古代文物展	
13	44		2,842	383	179	173						721	92	1,913	1,035	6,035	137	黄金の輝き	
14	38		1,555	309	205	205						737	142	1,423	1,375	6,373	188	技と美の誕生	
15	38		1,884	449	274	89						1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	大トルコ展	
16	46		1,965	133	126							615	81	1,745	1,156	5,064	110	縄文の女神展	
17	58		1,052	116	285	14						828	109	1,805	863	5,154	89	山の民と海の民	
18	51		942	167	206	234						802	83	1,546	812	4,613	90	甲府盆地から見たヤマト	
19	52		993	191	115	42					20	802	2,507	2,035	729	51,241	985	世界遺産ナズカ展	
20	55		12,958	2,908	498	355			3,441	18	506	9,468	90	1,628	905	6,549	119	埋められた財宝	
21	51		647	428	164	592					126	874	68	748	1,128	5,068	99	卑弥呼時代の黄泉世界	
22	51		605	420	39	351				14	116	667	44	961	751	4,329	85	発掘された女性の系譜	
23	51		453	236	40	390					112	652	102	1,069	1,154	6,773	135	縄文土器名宝展	
24	50		810	338	92	1,124					111	899	1,309	1,474	2,404	64,865	1,297	インカ帝国展	
25	50		12,437	4,782	193	999			4,996	605	18,095	379	36	639	552	2,993	91	食いしんぼうの縄文人	
33	33		143	169	104	534				54	379								

學校關係利用狀況

平成25年10月末日現在 (單位：校、人)

年度	県内						県外						合計					
	小学校		中学校		高校		小学校		中学校		高校							
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数				
4	88	6,303	4	494	1	10	93	6,807	67	5,569	17	1,708	11	538	95	7,815	188	14,622
5	89	6,450	11	1,352	2	362	102	8,164	68	5,716	15	1,461	11	578	94	7,755	196	15,919
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010	191	14,398
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	182	12,094
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	157	10,476
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616	154	9,624
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109	149	8,808
25	50	2,362	21	622	1	36	72	3,020	55	3,439	11	901			66	4,340	138	7,360
計	1,438	82,564	285	11,717	83	3,496	1,806	97,777	1,056	75,288	211	18,951	49	3,452	1,316	97,691	3,122	195,468

(参考) H24年10月末日現在

50	2,509	12	532	4	129	66	3,170	58	4,029	11	988	1	72	70	5,089	136	8,259
----	-------	----	-----	---	-----	----	-------	----	-------	----	-----	---	----	----	-------	-----	-------

考古博物館 総利用者数

平成25年10月末現在 (単位:人)

項目	22年度	23年度	24年度	25年度	増減		事業内容
					対H23 10月末比	H21~23平均 10月末比	
常設展 観覧者数	20,570	23,659	64,356	17,828	△ 4.0%	4.1%	
特別展 観覧者数	4,329	6,773	64,865	2,993	△ 31.0%	2.5%	
企画展 観覧者数	14,657	15,708	23,007	20,033	66.0%	69.9%	春季・夏季・冬季企画展、新指定展、夏季企画展プレ展示、新年干支展、わたしたちの研究室(展示)、山梨の遺跡展
主催事業 参加者数	14,871	21,764	25,677	17,368	△ 6.1%	24.1%	
講座等	416	557	511	391			史跡文化財セミナー、考古学講座、特別展事前講座、特別展記念講演会
ものづくり教室	407	392	415	244			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	8,253	9,330	9,073	7,843			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、縄布、青銅鏡等)
イベント等	4,387	10,028	13,542	6,000			考古博物館の日、夏休み自由研究プロジェクト(アィッセ)、夏休みフリーパスポートイベント、縄文王国関連イベント、特別展関連イベント、泉氏の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室表彰式・発表会、考古博春まつり 等
風土記の丘こどもまつり	1,408	1,457	2,186	2,890			(GW期間中2日間開催)
研修センター 利用者数	2,050	2,043	1,530	1,565	※ 37.1%	※ 36.4%	
風土記の丘望見展観覧者数	648	362	262				(2月~3月開催)
施設利用	1,402	1,661	1,268	1,565			講堂、研修室 【別掲】予二スコート利用者数 H22:1,794、H23:1,670、H24:1,996、H25:1,472
総利用者数	56,477	69,947	179,435	59,787	※ 10.0%	※ 27.5%	

※別掲とした予二スコート利用者数を含む増減

◇ 平成25年度考古博物館予定事業について

1 展示活動

- ① 冬季企画展『富士北麓の出土品～古代都留郡ものがたり～』
会 期：12月14日（土）～平成25年2月2日（日）
会 場：考古博物館多目的室
概 要：富士北麓に広がる都留郡一帯の資料を一堂に会し、考古資料から知られざる地域の歴史を振り返る。
- ② 『新年干支展 午（うま）』
会 期：1月2日（月）～2月2日（日）
会 場：考古博物館エントランスホール
- ③ 『第11回わたしたちの研究室』
会 期：2月11日（火）～3月2日（日）
会 場：考古博物館多目的室
- ④ 風土記の丘望見展『青銅器の輝き～この一年間の青銅器製作体験活動記録』
会 期：2月1日（土）～3月23日（日）
会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール
- ⑤ 『山梨の遺跡展2014』
会 期：3月8日（土）～4月6日（日）
会 場：考古博物館多目的室
共 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

- (1) チャレンジ博物館
第 9回 12月 8日（日） 『干支の土鈴をつくろう』
第10回 1月12日（日） 『土偶をつくろう』
第11回 2月16日（日） 『はにわをつくろう』
第12回 3月 9日（日） 『縄文時代のアクセサリーをつくろう』
- (2) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～
第 9回 12月15日（日） 『けつ状耳飾り作り』
第10回 1月11・25日（土）・26日（日） 『草木染めと原始機織り』
第11回 2月8・15日・3月1日（土） 『縄文土器作り』
第12回 3月8日（土）・16日（日） 『青銅器作り』

3 イベント

- (1) 考古博物館の日
1月25日（土） 『考古学探検隊（冬）』

3月 1日(土) 『考古博物館春まつり』

(2) 県民の日イベント

11月20日(水) 『体験!!古代人!』

(3) 古代のもちつき

1月2・3日(木・金)

(4) 第11回わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月9日(日)

(5) 縄文王国山梨関連イベント

○ 講演会

12月22日(日) 『縄文人の世界観～景観～』 北杜市考古資料館

『東北地方の縄文遺跡におけるランドスケープ研究の成果

～三内丸山遺跡を中心として～』

青森県埋蔵文化財調査センター 太田 原潤氏

『山梨県の縄文遺跡におけるランドスケープ研究の成果』

山梨県埋蔵文化財センター 今福 利恵氏

2月11日(火) 『縄文土器の文様』 山梨県立博物館

前井戸尻考古館館長 小林 公明氏

4 展示の充実

① 「石枕」レプリカ製作

先般国の史跡に指定された大丸山古墳(甲府市下曾根町)から昭和4年に出土し、現在は東京国立博物館が所蔵する「石枕」のレプリカを製作する。

② 竪穴住居改修

「古代の広場」に復元されている竪穴住居の茅葺屋根の老朽化が著しいため、全面的な改修(葺替え)を行う。

◇ 平成26年度 第32回特別展（予定）について

テーマ：『掘り起こされた古代の響き（仮称）』

会 期：平成26年10月4日（土）～11月24日（日） 47日間（月曜日休館）

会 場：山梨県立考古博物館

概 要：音を発生させる楽器に類するものは、日本国内では縄文時代から出現しており、「ヒト」と「音」との文化的な結びつきは極めて古い時代から存在していた。本特別展は、国内で発掘された考古資料の中で音を発するために製作された製品を一堂に会し展示することにより、県民に時代時代の「音」がもつ社会的そして祭祀的な意義をわかりやすく展示解説することを目的とする。時代的には、縄文時代から古墳時代までの発掘品を中心に、奈良時代までを展示範囲とし、原品で音を発することができるものはほとんど存在しないため、原品に加えて音の再現が可能なレプリカを展示する。

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十四年十月二十三日～平成二十六年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会会長	堀内邦満	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	市川 清	社会教育関係 (富士吉田市教育委員会教育委員長)
委嘱	山梨県PTA協議会副会長	田中利江	家庭教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	小川はるみ	学識経験者
委嘱	国立大学法人山梨大学教授	大隈清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	椎名慎太郎	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会会長	谷口一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齊藤洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	堀田一朗	学識経験者
委嘱	主婦	今福政江	公募
委嘱	主婦	杉野美幸	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	篠原春子	学校教育関係 (山梨市立三富小学校校長)
任命	山梨県高等学校校長協会	吉岡 剛	学校教育関係 (県立吉田高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会会長	堀之内睦男	学校教育関係 (甲府市立西中学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会 地理歴史公民科部会会長	深沢信吾	学校教育関係 (県立巨摩高等学校校長)

(平成二十五年十一月現在)

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担任事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担任事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

山梨県立考古博物館の基本理念（案）

○設置目的（山梨県立考古博物館設置及び管理条例）

古代文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する。

○目指すべき方向性

1 知識を深める考古博物館

生涯にわたり古代史や考古学に関する知識を深め、豊かな知性をはぐくむことができる考古博物館

2 楽しめる考古博物館

「甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園」の恵まれた自然の中で、大人から子どもまでが古代の技術や生活に親しみ、楽しむことができる考古博物館

3 郷土を再発見できる考古博物館

山梨の歴史、文化、風土、自然等を再発見することができる考古博物館

4 意欲をかき立てられる考古博物館

考古学や古代史に対する探求心、研究心等の意欲をかき立てられる考古博物館

5 未来につなげる考古博物館

考古資料をより適切な環境で保管し、後世に伝えるとともに、^{いにしえ}古の文化を未来につなげることができる考古博物館

考古博物館基本理念と活動内容

